

## D. 感覚・知覚 D-1 つまみ上げ検査

氏名:	記録日:	記録者:
-----	------	------

## ◆用意するもの:

・小物品;(10物品、AセットまたはBセット)

Aセット=①六角ナット、②翼付きナット、③座金、④安全ピン、⑤クリップ、⑥10円玉、⑦50円玉、⑧鍵、⑨ボルト、⑩乾電池。

Bセット=①ティッシュペーパー(5cm程度に丸めたもの)、②綴り紐(5cm径に巻いたもの)、③紙箱、④洗濯バサミ、⑤ダブルクリップ、⑥スティック糊、⑦乾電池、⑧ライター、⑨スプーン、⑩フォーク。

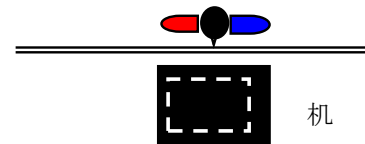
⑩マット(書道用下敷き)(各辺の端から3cm内側に印をつけておく、下図参照)。

☆検査に先立ち、Aセットの物品を開眼で摘み上げることが可能かどうかを確認し、不可能な物品が3個以内であれば観察所見表(Aセット)の中の該当物品欄を斜線で消去し、残りの物品を調べる。

☆Aセットのうち、摘み上げ及び移動が不可能な物品が4個以上ある場合にはBセットの物品について調べる。

## ◆被検者の位置:

被検者は机に向かって椅子に腰掛け、対象手を楽な肢位で机の上に置く。



## ◆検査手順:

1) 検査は健側、または利き手から開始する。

2) 被検者の正面の机上の到達しやすい位置にマットを敷き、そのしるしの内側に10個の物品を他と重ならない様に散らばせておく。

3) 被検者に次のように云う。「物品は全部で10個あります。目をあけたまま、これから名前をいう物品を摘んで、マットの脇に置いてください」(右手の場合には、マットの右側に、左手の場合にはマットの左側に置く)。「六角ナット、翼付きナット、座金、――(10個の物品名を挙げ、動作の確認をする)」。物品名がわからないものについては、「これです」と指差し、摘みあげを促す。摘みあげが困難な物品、または移動中落ちてしまった物品は検査から除外する。除外された物品が4個以上の場合には、Bセットの物品を使用する。

4) 物品すべてをマットの上に戻す。

5) 検者は「いまの要領で行ってください」といい、「六角ナット」といって検査を開始する。物品を摘みあげて、マットの脇に置く動作を観察する。

6) 被検者が移動した物品をマットに戻す。

7) 「今度は、目をつぶって同じことをやっていただきます。物品の場所は入れ替えますので、名前を告げられた物品を手探りで摘み上げ、落とさずにマットの脇においてください」と告げる。

8) 被験者に「それではしばらく目を閉じていてください」と告げ、物品の位置を移動してから、次のようにいう。「先ほどの六角ナットを探してマットの脇に置いてください」。物品の探索、摘みあげ、移動、置く動作、特に開眼時の動作との差を観察する。

9) 2番～10番までの物品に言い換えて、5)～8)を繰り返す。

10) 手を替えて、同様の検査を繰り返す。

## ◆記録:




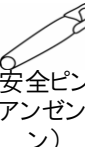




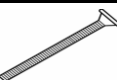
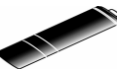
1) 開眼時は、物品をつまみあげ、移動して置く動作の可、不可のいずれかに○を記し、困難な状況があればその所見を記録する。

2) 閉眼時は、物品を探索、摘みあげ、移動させて置くという動作の可あるいは可に○を記し、開眼時と異なる状況や困難な状況があればその所見を記録する。物品の誤認があれば、探索(不可)に○を記し、摘みあげ(誤)に○をつけ、さらに間違えた物品の番号を記入する。

例:探索時の手の動きや使用している部位、物品の誤認状況、マットの持ち上げ、摘みあげる際の手のフォーム(使用している指や部位)、過度な把持力や物品の把持困難、移動の際の物品の落下 など。

<観察所見> (Aセット)

\* 優位手とは被検者がもっとも使いやすいと感じる方の手

物品 No	検査物品	右 手		左 手	
		本来の(利き手・非利き手)		本来の(利き手・非利き手)	
		(健側・患側)		(健側・患側)	
		(優位手・非優位手)*		(優位手・非優位手)*	
		開眼時	閉眼時	開眼時	閉眼時
①	 六角ナット (ロッカクナット)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)
②	 翼つきナット (ヨクツキナット)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)
③	 座金 (ザガネ)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)
④	 安全ピン (アンゼンピン)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)
⑤	 クリップ (クリップ)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)
⑥	 10円玉 (シュウエンダマ)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)
⑦	 50円玉 (ゴシュウエンダマ)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)
⑧	 鍵 (カギ)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)
⑨	 ボルト	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)
⑩	 乾電池 (カンデンチ)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)

<観察所見> (Bセット)

\* 優位手とは被検者がもっとも使いやすいと感じる方の手

物品 No	検査物品	右手		左手	
		本来の(利き手・非利き手)		本来の(利き手・非利き手)	
		(健側・患側)		(健側・患側)	
		(優位手・非優位手)*		(優位手・非優位手)*	
		開眼時	閉眼時	開眼時	閉眼時
①	ティッシュ ペーパー	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)
②	綴り紐 (ツツリヒモ)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)
③	紙箱 (カミハコ)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)
④	洗濯バサミ (センタクバサミ)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)
⑤	ダブルクリップ	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)
⑥	スティック糊 (スティックリ)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)
⑦	乾電池 (カンテンチ)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)
⑧	ライター	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)
⑨	スプーン	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)
⑩	フォーク	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)	摘みあげ(可・不可) 移動(可・不可)	探索(可・不可) 摘みあげ(可・不可・誤 <sup>番号</sup> ) 移動(可・不可)

**D. 感覚・知覚 D-2 母指探し試験(平山)**

氏名:	記録日:	記録者:
-----	------	------

- ◆用意するもの:特になし
- ◆検査者と被検者の位置:被検者は椅子に座る.検査者は対象手の側に立つ.
- ◆検査手順:
  - 1) 検査者は一方の手で、被検者の固定肢(検査する側)を指の背面から覆うように保持し(母指は覆わずにはずす)、他方の手で固定肢の肘付近を下から支える。
  - 2) 固定肢をリラックスさせ、空間内で動かした後、任意の位置に固定する。
  - 3) 「この腕の親指を反対の手の親指とひとさし指でつかんでください」と被検者に告げる。このとき母指をつかもうとする側の上肢を運動肢と呼ぶ。固定肢の手の位置は運動肢が無理なくつかめる範囲とする。
  - 4) 開眼の状態で3)を正しく遂行できることが確認できたら、同様のことを閉眼にして行わせる(3回くりかえす)。
  - 5) 固定肢と運動肢を変え、1)～4)を同様に実施する。
- ◆成績判定:以下に従って判定を行う。
  - 1度: 数cmずれても、直ちに修正して目標に到達する。
  - 2度: 数cmずれ、固定肢の母指周辺を探り、一部に触れるとそれをつたう様にして母指に到達する。
  - 3度: 10cm以上ずれ、運動肢は空間を探り、容易に目的の固定肢に到達しない。運動肢が偶然に固定肢に触れなければ、断念してしまう。
- ◆観察所見:特記事項があれば記録する。

参考文献:平山恵造;母指探し試験—関節定位覚障害の検査—.臨床神経学26:448-454、1986.

	固定肢:右手			固定肢:左手		
	本来の(利き手・非利き手)			本来の(利き手・非利き手)		
	(健側・患側)			(健側・患側)		
	(優位手・非優位手)*			(優位手・非優位手)*		
	試行1	試行2	試行3	試行1	試行2	試行3
判定	度	度	度	度	度	度
総合判定	度			度		
観察所見						

\* 優位手とは被検者がもっとも使いやすいと感じる方の手